

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ビジョン

日本におけるIP・コンテンツ・ブランドビジネスの最高の舞台であり、世界を相手に事業展開する企業グループ

② 中長期の経営戦略

1. IP保有戦略

迅速な意思決定のため、製作委員会でIPを保有し、出資者数を限定して柔軟な経営判断を実現

2. 新規IP量産体制

地方局、インターネット放送局、SNS等特定メディアのコミュニティへの同時多発的展開で新規IP量産

3. 知的財産権ビジネス拡大

ソーシャル・キャラクターとブランドでリアル・デジタル商品ライセンスを迅速展開し、新領域開拓

4. 人材確保・育成

事業拡大とグローバル展開に対応する人材確保と異文化コミュニケーション能力の向上を推進

③ 対処すべき課題

① メディア環境の急速な変化

- ・スマートデバイス普及とSNS・動画配信サイト興隆への対応
- ・ARやVR、AI、ブロックチェーン等新技術の活用

② コンテンツ消費の多様化

- ・短時間・リアルタイム情報共有へのシフト対応
- ・スキマ時間ショートコンテンツのニーズ拡大への事業化

③ IPビジネスの効率化

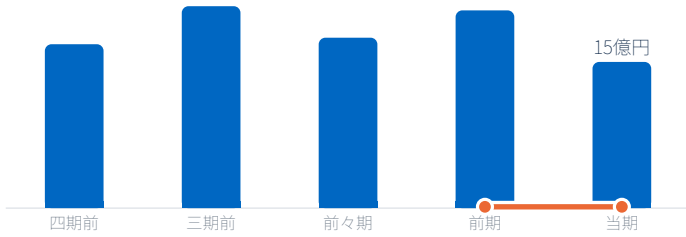
- ・マスメディア放送の費用対効果低下への課題
- ・デジタル商品の短納期化に対応した制作体制整備

面接で使えるポイント

- ・スマートフォン・タブレットPC普及の中、スキマ時間ショートコンテンツへニーズ転換への対応力を評価
- ・朝日放送グループとの資本業務提携でテレビ・ラジオ資産を活用した事業展開の成長性に注目
- ・ARやVR等新技術を活用したブロックチェーンゲーム等新サービス開発の競争力

証券コード 3686

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
情報通信・サービス業に分類される企業で、映像制作とIP（知的財産）活用を中心とし

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
15億円営業利益率
▲40.7%財務健康度
32点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 42.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
530万円

情報・通信業内 515位/592社

平均年齢
37.0歳

情報・通信業内 355位/593社

平均勤続
5.0年

情報・通信業内 368位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)ディー・エル・イー【3686】：決算情報

